

商品/サービス紹介：

説明：

Whoscall (だれ電) は電話帳のデータベースを通じて、知らない番号からの着信識別をサポート。着信者の使用する電話会社および発信エリアなどの情報提供も含まれ、更にグループ管理やブラックリストの機能もあり、高齢者の在宅での安全保護の面で応用可能。



商品/サービス略図：



01 膨大な番号の収集
 インターネットやユーザー端末*を通じて得た大量の迷惑電話情報を収集
東アジア最大の迷惑電話データベースに10億もの番号を格納
*ユーザーの許可を得たものに限る

04 人の手による審査
 人が直接確認することで、善良な企業の活動や個人の番号を精査し、守ります
10人体制で毎日審査



02 膨大なユーザー数を活用した投票式演算法
 ユーザー端末のアプリを通し報告された番号をユーザーと連携した独自のアルゴリズムで運用
20%のユーザーが率先して報告

03 機械学習による不正使用や悪用の防止
 人工知能 (AI) と各国の政府や警察情報との連携強化
悪意のある報告や電話番号不正登録の回避

成果/利益：

世界中でダウンロード数延べ5,000万人を突破。各国企業との提携を積極的に展開し、通話に関連する付加サービスを発展。消費者の要求を全面的にサポートしている。データ分析からAI技術まで活用した詐欺電話の識別は、金融業者や発展途上のネット銀行で応用可能。

2020年に世界初の「ウイルス流行中の詐欺防止ホワイトペーパー」を発表。防疫対策期間に発生している詐欺の手法について明らかにした。

実績：

- ◆ 2016年12月：Google Play 2016 年度最高人気アプリケーション
- ◆ 2016年09月：GOLDEN PENGUIN AWARD 「最高応用賞-公共サービス部門」
- ◆ 2013年12月：Googleの「2013年度イノベーション大賞」

希望提携先&モデル：

提携先：

- 銀行、金融産業
- 警察、政府機関